

(別表) 第5次中期経営計画と2022年度事業の関係図

2023.5.21

		2022年度事業																
第5次中期経営計画		福業促進	祇園祭 ごみゼロ	災害時連 携NPO ネット	しみセン	学プラ	お宝バンク	左京区 交付金	中丹PC 講座	Save Japan	労金 パートナー	ともいき地 域研究会	Kyoto Happy NPO	コンサル ティング事 業	オンラインセ ミナー「協力の テクノロ ジー」	きょうえん	JCNE 組織評価	支援会員 獲得
(1)	多様な協働を生む触媒として、ソーシャルイノベーションにつながる取組みを行います。	◎	◎	◎							◎	○						
	①半歩あゆみ出すための「風呂敷会議（N-クロス）」を開催します。				○	☆						☆						
	②ソーシャルメディアを活用して、「私ごと化」された課題をつなぎ、そのつながりを広げます。				☆	☆							☆					
(2)	京都市市民活動総合センターの取り組みをはじめ、明確な成果の実感が期待できる行政事業への戦略的な参画に挑戦します。				◎	◎	○	○	○									
	①中間支援の価値を高める事業に挑むため、行政の財政や施策の情報把握に努めます。			◎	◎	◎												
	②NPO等が単独ではチャレンジ困難な委託事業に、連携・協力の体制を作り参画します。		◎	◎										☆				
	③より有効な成果が期待できる仕様書が作成されるよう、行政に提言や協議を行います。				◎	◎	◎	☆	☆									
(3)	多様な社会的・経済的価値創出に向け、地域企業及び業界団体等との協働を柱とした中間支援機能の高機能化と連携の推進を目指します。	○	◎	◎			○				○	◎			○			☆
	①支援領域の拡大を目的に、多様な連携・協働関係を構築し、調査研究活動を行います。	○		◎	☆						○	○		○				☆
	②中間支援機能の高度化のためのサービス開発を行い、新たな領域での支援を展開します。		○	○	○						○	○	☆	○				☆
	③上記を踏まえ、職員のスキルセットの明確化と職能開発を行います。																	
(4)	成果を見据えた公共政策研究及び質量感のある社会課題直接対応型事業の検討・開発を行います。			◎														
	①学生が社会参加しやすい環境・仕組みづくりについての研究及び事業開発を行います。				☆	☆												
	②重層的な支援を届ける連携事業の在り方について研究し、事業開発を行います。	◎		○										○				
	③若手研究者と民間公益活動団体のマッチングシステムを構築します。				☆							☆						
(5)	団体支援に資する人材と社会変革を促す人材の育成を見据えた職能開発、スキルのセットアップを目指して、法人として一体的な実践場面の創造を行います。																	
	①全ての職員が半歩先*の提案をできる「一歩先」の情報収集と発信の機会を創出する。				☆	☆						○						
	②多様なセクターと「学びほぐし」の場づくり」を実践し、新しいKNCの社会的価値を創造する。				☆	☆						○						
(6)	経営基盤の適正化及び多様な財源で構成する財政基盤の強化を目指します。																◎	
	①多様な事業展開による収益増を模索し、相対的に現状の収入比率を下げます。			○		○	○	○	○	○		☆		☆				☆
	②より社会と密着すべく支援会員制度を充実させ、求められ支えられる環境整備を目指します。											○						☆
	③NPO支援に留まらず、多様なセクターでのより高機能な中間支援機能を戦略的に発揮します。				☆							○						☆
(7)	KNCがこれまで担ってきた人材育成機能を発揮するため、多様で特色ある役員構成により理事会の役割を強化します。				○													
	①理事会は、職員各位に適した情報と機会の提供を行うつながり留学を創出します。																	
	②理事会は中期経営計画を念頭に、事業の創造と変革の見極めを年に2回実施します。																	
	③理事は年1回以上、内部研修、または公開での講座提供、記事執筆等の話題提供を行います。	9月職員研修(荻原)、ともいき地域研究会(荻原)																
(8)	そのほかミッション実現のために取り組んでいるもの														◎	◎		